



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月29日

上場会社名 株式会社みちのく銀行 上場取引所 東
 コード番号 8350 URL <https://www.michinokubank.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 藤澤 貴之
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 古村 晃一 (TEL) 017-774-1111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	28,154	△7.7	△3,479	—	△4,729	—
2019年3月期第3四半期	30,512	△9.3	616	△81.2	257	△86.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △1,779百万円 (—) 2019年3月期第3四半期 △5,269百万円 (—)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△274.72	—
2019年3月期第3四半期	8.50	8.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,210,150	86,858	3.9
2019年3月期	2,115,746	89,171	4.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 86,293百万円 2019年3月期 88,603百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計—期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	△3,100	—	△4,200	—	△250.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	18,135,395株	2019年3月期	18,135,395株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	524,701株	2019年3月期	556,875株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	17,610,977株	2019年3月期3Q	17,563,170株

(注) 2019年3月期及び2020年3月期3Qの期末自己株式数には、株式給付信託（BBT）が保有する当行株式数（417,100株及び384,200株）を含めております。
また、2019年3月期3Q及び2020年3月期3Qの期中平均株式数を算定するにあたり、株式給付信託（BBT）が保有する当行株式の期中平均株式数（434,522株及び384,200株）を控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当行としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係が異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額 (年間)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
A種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円
2019年3月期	—	27.15	—	27.15	54.30	217
2020年3月期	—	27.15	—			
2020年3月期(予想)				27.15	54.30	217

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
2020年3月期 第3四半期決算短信説明資料	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金などの資金運用収益が減少したことなどから、前年同期比23億57百万円減少して281億54百万円となりました。経常費用は、貸倒引当金繰入額の増加によりその他経常費用が増加したことや、銀行単体における有価証券の含み損処理に伴う有価証券関係損失の増加によりその他業務費用が増加したことなどから、前年同期比17億38百万円増加して316億34百万円となりました。

この結果、経常損益は前年同期比40億95百万円減少して34億79百万円の損失となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、法人税等調整額の増加により、前年同期比49億87百万円減少して47億29百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態につきましては、預金に譲渡性預金を含めた総預金残高は、個人預金や公金預金の増加などにより、前連結会計年度末比717億円増加して、2兆696億円となりました。

貸出金残高は、住宅ローンや地公体等貸出の増加により、前連結会計年度末比1,412億円増加して1兆6,603億円となりました。

有価証券残高は、前連結会計年度末比702億円減少して1,541億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想並びに配当予想につきましては、2019年11月1日に公表の「2020年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」の通りでございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
現金預け金	296,079	317,521
買入金銭債権	2,738	2,973
金銭の信託	16,820	19,978
有価証券	224,436	154,165
貸出金	1,519,057	1,660,307
外国為替	1,187	1,732
リース債権及びリース投資資産	16,536	16,931
その他資産	20,357	21,545
有形固定資産	15,602	14,921
無形固定資産	2,295	2,071
退職給付に係る資産	1,534	1,510
繰延税金資産	3,670	2,287
支払承諾見返	8,869	8,689
貸倒引当金	△13,440	△14,436
投資損失引当金	—	△51
資産の部合計	2,115,746	2,210,150
負債の部		
預金	1,967,168	2,019,651
譲渡性預金	30,683	49,969
借入金	1,900	27,985
外国為替	6	0
その他負債	10,359	10,175
賞与引当金	981	362
退職給付に係る負債	4,962	5,051
役員株式給付引当金	412	385
睡眠預金払戻損失引当金	576	383
偶発損失引当金	210	204
利息返還損失引当金	7	2
再評価に係る繰延税金負債	435	430
支払承諾	8,869	8,689
負債の部合計	2,026,575	2,123,291
純資産の部		
資本金	36,986	36,986
資本剰余金	31,589	31,589
利益剰余金	23,087	17,790
自己株式	△1,290	△1,224
株主資本合計	90,373	85,140
その他有価証券評価差額金	△2,104	898
土地再評価差額金	135	126
退職給付に係る調整累計額	198	127
その他の包括利益累計額合計	△1,770	1,153
非支配株主持分	568	564
純資産の部合計	89,171	86,858
負債及び純資産の部合計	2,115,746	2,210,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
経常収益	30,512	28,154
資金運用収益	17,349	15,117
(うち貸出金利息)	14,898	14,294
(うち有価証券利息配当金)	2,358	731
役務取引等収益	4,740	4,872
その他業務収益	439	482
その他経常収益	7,983	7,681
経常費用	29,896	31,634
資金調達費用	474	330
(うち預金利息)	453	316
役務取引等費用	2,431	2,654
その他業務費用	2,514	2,797
営業経費	17,215	16,515
その他経常費用	7,260	9,335
経常利益又は経常損失(△)	616	△3,479
特別利益	—	7
固定資産処分益	—	7
特別損失	86	36
固定資産処分損	65	22
減損損失	20	13
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	530	△3,508
法人税、住民税及び事業税	135	115
法人税等調整額	106	1,087
法人税等合計	242	1,202
四半期純利益又は四半期純損失(△)	288	△4,711
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	18
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	257	△4,729

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	288	△4,711
その他の包括利益	△5,557	2,931
その他有価証券評価差額金	△5,397	3,003
退職給付に係る調整額	△160	△71
四半期包括利益	△5,269	△1,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,299	△1,797
非支配株主に係る四半期包括利益	30	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

2020年3月期 第3四半期決算短信 説明資料

1. 2020年3月期 第3四半期損益の状況<単体>

- コア業務純益は、経費が減少したものの、貸出金利息、有価証券利息配当金の減少等により資金利益が減少したことなどから、前年同期比8億45百万円減少して11億58百万円となりました。
- 経常損益は、コア業務純益の減少や与信費用の増加、有価証券の含み損処理に伴う有価証券関係損失の増加などにより、前年同期比40億27百万円減少して34億52百万円の損失となりました。四半期純損益は、法人税等合計の増加により、前年同期比49億17百万円減少して45億45百万円の損失となりました。

(単位：百万円)

	2020年3月期 第3四半期 (9ヶ月累計)	前年同期比	2019年3月期 第3四半期 (9ヶ月累計)	2020年3月期 通期業績予想 (12ヶ月累計)
経常収益	20,543	△2,690	23,233	
業務粗利益	14,409	△2,362	16,771	
〔コア業務粗利益〕	17,060	△1,748	18,809	
資金利益	15,016	△2,057	17,074	
役員取引等利益	1,706	△64	1,770	
その他業務利益	△2,313	△240	△2,073	
うち国債等債券損益 (A)	△2,650	△613	△2,037	
経費 (除く臨時処理分)	15,902	△903	16,805	
うち人件費	8,195	△577	8,772	
うち物件費	6,776	△255	7,032	
うち税金	930	△70	1,000	
実質業務純益	△1,492	△1,458	△33	
〔コア業務純益〕	1,158	△845	2,003	1,400
〔コア業務純益(除く投資信託解約損益)〕	1,111	583	527	
一般貸倒引当金繰入額 ①	625	633	△7	
業務純益	△2,118	△2,092	△26	
臨時損益	△1,333	△1,935	601	
うち株式等関係損益 (B)	46	△858	905	
うち不良債権処理額 ②	1,468	1,058	409	
うち退職給付費用	△102	127	△230	
経常利益 (△は経常損失)	△3,452	△4,027	575	△3,100
特別損益	△24	61	△85	
うち固定資産処分損益	△11	54	△65	
うち固定資産減損損失	13	△7	20	
税引前四半期純利益 (△は税引前四半期純損失)	△3,476	△3,966	490	
法人税等合計	1,068	950	117	
四半期 (当期) 純利益 (△は四半期 (当期) 純損失)	△4,545	△4,917	372	△4,000

(参考)

与信費用 ①+②	2,094	1,692	402
有価証券関係損益 (A+B)	△2,603	△1,472	△1,131

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益 (金融派生商品損益 (債券関係) 含む)

3. 実質業務純益＝業務粗利益－経費

4. コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益 (金融派生商品損益 (債券関係) 含む)

2. 金融再生法開示債権<単体>

金融再生法開示債権は、2019年9月末比6億円減少して217億円となりました。また、対象債権に占める開示債権の比率は、2019年9月末比0.05ポイント減少して1.26%となっております。

(単位：億円)

	2019年12月末	2019年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	92	92
危険債権	116	123
要管理債権	8	8
開示債権合計	217	223
対象債権合計	17,121	16,976
対象債権に占める開示債権の比率	1.26%	1.31%

(注) 金融再生法開示債権は、億円未満を四捨五入して表示しております。

3. 自己資本比率 (国内基準)

2019年12月末の自己資本比率 (国内基準) については現在算出中であり、確定次第、別途開示する予定であります。

4. 時価のある有価証券の評価差額<単体>

その他有価証券の評価差額は、2019年9月末比40億円増加して12億円となりました。

(単位：億円)

	2019年12月末				2019年9月末			
	時価	評価差額	うち		時価	評価差額	うち	
			益	損			益	損
その他有価証券	1,282	12	35	23	1,420	△28	23	51
株式	94	19	23	3	85	9	14	4
債券	365	△1	0	1	204	0	0	0
その他	822	△5	12	17	1,131	△38	8	46

(注) 1. 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

2. 2019年12月末の「評価差額」は、2019年12月末時点の帳簿価額 (償却原価法適用後・減損処理後) と時価との差額を計上しております。

5. デリバティブ取引<連結>

「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会 業種別監査委員会報告第24号)等に基づき、ヘッジ会計を適用しているデリバティブ取引は、下記記載から除いております。

(1) 通貨関連取引

(単位:億円)

区分	種類	2019年12月末			2019年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	為替予約						
	売建	6	△0	△0	6	△0	△0
	買建	0	0	0	0	△0	△0
合計		—	△0	△0	—	△0	△0

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 金利関連取引、債券関係取引、株式関連取引、商品関連取引、クレジット・デリバティブ取引 該当事項はありません。

6. 預金・貸出金等の残高<単体>

(1) 預金・預かり資産の状況

総預金・預かり資産の合計残高は、前年同期比472億円増加して2兆3,465億円となりました。そのうち、個人のお客さまの預金・預かり資産の合計残高は、保険の残高が増加したことなどにより、前年同期比464億円増加して1兆8,086億円となりました。

(単位:億円)

	2019年12月末			2019年9月末	2018年12月末
		2019年9月末比	2018年12月末比		
総預金	20,778	228	236	20,549	20,542
預金	20,238	195	273	20,042	19,965
譲渡性預金	539	32	△37	506	576
預かり資産	2,687	20	236	2,666	2,450
投資信託	348	△9	△6	357	354
公共債	75	8	△14	67	89
保険	2,263	21	257	2,241	2,006
合計	23,465	249	472	23,216	22,993

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

(参考) 個人預金・個人預かり資産の状況

(単位:億円)

	2019年12月末			2019年9月末	2018年12月末
		2019年9月末比	2018年12月末比		
個人預金	15,442	316	208	15,126	15,234
預かり資産	2,643	26	255	2,616	2,387
投資信託	332	△7	△5	339	338
公共債	47	12	4	35	42
保険	2,263	21	257	2,241	2,006
合計	18,086	342	464	17,743	17,621

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 貸出金の状況

貸出金は、個人ローンや地公体等貸出の増加等により、前年同期比1,228億円増加して1兆6,799億円となりました。

(単位：億円)

	2019年12月末			2019年9月末	2018年12月末
		2019年9月末比	2018年12月末比		
貸出金	16,799	132	1,228	16,666	15,570
一般貸出	13,238	17	287	13,220	12,950
事業性貸出	7,310	△ 91	△ 196	7,402	7,506
個人ローン	5,928	109	484	5,818	5,443
うち住宅ローン	5,251	123	474	5,128	4,777
地公体等貸出	3,560	114	941	3,445	2,619

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 青森県内・函館地区の状況

当行の主要営業地域である青森県内・函館地区の総預金残高は、前年同期比249億円増加して1兆9,492億円、貸出金残高は前年同期比151億円減少して1兆2,209億円となりました。

(単位：億円)

	2019年12月末			2019年9月末	2018年12月末
		2019年9月末比	2018年12月末比		
総預金	19,492	214	249	19,277	19,243
預金	18,981	181	296	18,800	18,685
うち個人預金	14,555	316	231	14,239	14,324
譲渡性預金	510	32	△ 47	477	557
貸出金	12,209	26	△ 151	12,182	12,360
一般貸出	10,161	40	327	10,120	9,833
事業性貸出	4,836	△ 27	10	4,863	4,825
個人ローン	5,324	68	316	5,256	5,008
うち住宅ローン	4,691	82	309	4,609	4,381
地公体等貸出	2,048	△ 13	△ 478	2,062	2,526

(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。